

### 身近にある多くの危険物 7日から危険物安全週間

7日(日)～13日(土)は「危険物安全週間」。

ガソリンや灯油は危険物として知られているが、身近にある化粧品のスプレー缶や消毒液なども危険物。保管や使用方法、捨て方などを間違えると火災が起きる危険がある。特にここ数年は、モバイルバッテリーで使われているリチウムイオン電池からの火災が増えている。

狛江消防署では、危険物安全週間に機会に身の回りの危険物を把握し、正しい保管や使用方法、捨て方(二次元コード)を確認してほしいと呼びかけている。

問い合わせ ☎3480-0119 狛江消防署予防課危険物係。

### 市役所前に花畑が出現 花とみどりの即売会

第105回花とみどりの即売会が4月24日(土)と25日(日)に市役所市民ひろばで開催された。



花や野菜の苗を即売

市内の生産者や造園業者が栽培した花や野菜の苗、植木などがずらりと並び、訪れた人たちは春の花で彩られた光景を楽しみながら、次々と買い求めていた。

狛江市緑化推進事業協議会が春と秋に実施している。会場では、植木のせん定や花の栽培などの緑化相談も行われ、専門家が質問に応じていた。また、25日にはマリーゴールドなどの花の苗が無償配布され、長い列ができた。

### 病気の子どもや家族支援 法人設立を記念し絵本展

市内在住の大西優子さんが小児がんで他界した娘への思いを原点に、病気で苦しむ子どもや

家族への支援活動を目的とした一般社団法人「わかちゃんの絵本」を5月に設立。記念イベントを12日(土)～15日(月)に泉の森会館で開催する。

イベントでは、大西さんの長女わかさんが手がけた絵本『ビーズのおともだち』(ニジノ絵本屋、写真右)のパネルをはじめ、絵本に描かれたキャラクターのぬいぐるみや難病経験者の出版物などを展示するほか、市内の就労事業所の焼き菓子なども販売。小児がん支援の代表的な飲み物レモネードにちなんだメニューも提供する。開催時間は午前10時(初日は午後1時)～午後5時(最終日は3時)で入場無料。また、14日(日)に開くホールイベントは入場券が完売となり、関心の高さを示している。



ビーズははっと、すぐたをかえて...あれ?

大西さんは自身の経験から病気や死への理解を広め、社会全体で難病の子どもたちとその家族を温かく支えるコミュニティづくりを目的に法人を設立した。

わかさんは4歳で小児がんにかかり、最初の入院時に認定NPO法人シャイン・オン・キッズが国内に導入している治療の過程ごとに勇気の証となるビーズを受け取るビーズ・オブ・カレッジプログラムを経験した。病気と向き合いながら市内の小学校に在籍、10歳の時には楽団にも所属。さらに絵本作家になる夢を膨らませ、勇気のビーズの経験をモチーフに原作を完成させた。それを元に大川久乃さんが文、のだからおりが絵を担当し、12歳の誕生日に絵本を刊行した。同書は大きな関心を集め、英語版も発行された。

問い合わせ M wakaehon@gmail.com 大西さん。

### Shop & Service Guide ...56 いらっしやいませ だい はる (有)大治工務店

有限会社大治工務店は、創業80年以上の歴史を持つ伝統的な木造軸組工法を得意とする工務店。木の温もりが感じられる、楽しく住める家造りを心がけている。農家に生まれた創業者の小川治太郎さん(故人)は大工を志し、都内の工務店に住み込んで修行した。独立後は世田谷区成城で住宅を数多く手がけて高い評価

### 木の温もり感じられる日本の家屋 伝統的な技術守り伝え 80余年



(左から) 妻の麗子さん、小川社長、社員

☎3489-0041 岩戸南2-5-10 営業時間=午前8時30分～午後5時 日曜日・祝日・隔週土曜日休み

### アマとプロがダンスと歌競演 6日にグローバルコンサート

市内在住のダンスプロデューサー MI-KU(秋吉久美子)さんが、市内の体操クラブ会員などアマチュアとプロによる「音楽と舞台芸術でつなぐグローバルコンサート」を6日(日)にエコルマホールで開催する。

秋吉さんは昭和50年代半ばから芸能界でダンサーとして活動するほか、若者にダンスを指導。約30年前から市内などで高齢者に健康体操を教えている。

「ありがとう公演vol.3 スピンオフver.&～生きる～」(M-MIX・いきいき体操クラブNEO主催)には、秋吉さんが指導する市内の健康体操クラブの有志や市内のフラダンスのメンバー、プロのショーダンサー、プロミュージシャンなど幅広い年代の65人が出演、約2

### Start & Challenge 初のジャズフェスティバルをほこみちで開催

狛江初のジャズフェスティバル「KOMAE RIVERSIDE JAZZ2026」が4月29日(日)に狛江駅前ほこみちステージで開催され、500人余りが生演奏を楽しんだ。

狛江RIVERSIDE JAZZ実行委員会(中村亜希子代表)が令和8年度狛江市市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受けて催した。中村さんと狛江ゆかりのミュージシャンによるスペシャルバンド「Akiko Nakamura Plus Four」ら9組が出演、スタンダードジャズやブルースなどを披露した。



ジャズフェスティバル

また、こまえみらいテラスでは、子ども向けに「KIDS JAZZ SESSION」が開催され、乳幼児から小学生までの親子連れなど約100人が参加。小学生のピアニストが大人のバンドとのセッションを披露したり、マラカスを手にした子どもたちが、ジャズミュージシャンの演奏に合わせて「小さな世界」を演奏するなどしてジャズの世界を体験した。

中村さんは「予想以上に多くの人にジャズを楽しんでいただけた」と喜び、来年も開催したいと話していた。

二ノ橋 を得るなど順調に業績を伸ばし、昭和62年に有限会社になった。

現社長の小川貴久治さん(75)は小学生の頃から父の作業場に入って大工仕事に親しみ、高校生からは家業を手伝って腕をみがいた。大学の建築科に進むと家造りに関わる多くの資格を取得した。平成5年に社長に就任し、狛江市をはじめ調布市、世田谷区などの住宅建築を手がけている。また、子どもが障がいを持っていることから、福祉住環境コーディネーターの資格を持ち、障がい者や高齢者が住みやすい家の建築やリフォームにも力を入れている。

新規の注文に加え、父が建てた家の修理や、父の顧客から新築を頼まれることも多い。現在は2人の社員に加え、長年取引がある出入り業者と協力して施工している。また、父の代からの職人と作業することもあるという。

自宅兼事務所に最近の建設現場ではあまり見なくなった曲尺や墨壺、「東京府公認建設組合員」の木札(写真右)を飾っている小川社長は「昔の家は吟味した材料をうまく使い、狂いも少なく風格が感じられます。かつての職人たちは日本の風土に合わせて、経験と技術をいかして建てていました。そうした先人に学びながら、社員とともに伝統的な技術を守り伝え、木の温もりが感じられる家を提供するため、体が動くうちは現役として現場で働き続けたい」と話している。



### ゆかたの着付けを学ぶ講習会

夏に着る機会が多いゆかたの講習会を「四季の会」(石井須美子代表)が催す。ゆかたの着方と半幅帯の結び方などの基本を指導する。参加者は6月5日(土)、12日(土)、26日(土)、7月3日(土)、10日(土)、17日(土)の全6回のうち、希望する3日を選ぶ。定員は先着5人。参加費は3回分で500円。ゆかた、半幅帯、腰ひも、伊達締め、タオルなどを持参する。同会は昭和50年に着付け教室として創設。現在は30代～70代の女性が気軽に着付けを学べる同好会として毎月3回金曜日午前9時から正午にこまえみらいテラスで活動している。会員たちは着付けの技量向上を目指すほか、児童養護施設での着付けボランティアや国際交流イベントでの振袖着付けなど、地域に根差した幅広い活動も行っている。



ゆかたの着付けを指導

問い合わせ・申し込み ☎3480-2391 M isiaaa@rapid.ocn.ne.jp 石井さん

時間にわたって踊りと歌のステージを繰り広げる。

秋吉さんは石川県のいしかわ観光特使を務めており、会場で令和6年の能登半島地震や豪雨被災者への

募金を行うほか収益の一部を被災者へ贈る。入場料3,000円。Instagram(二次元コード) 問い合わせ ☎090-5542-4645 秋吉さん。

